



第2巻 第4号

発行日

平成20年1月

市立小樽病院広報委員会

電話25-1211

# 放射線科の目標

放射線科技師長 今井孝一

皆さま、あけましておめでとございます。日ごろは当院、並びに放射線科をご利用いただき、感謝を申し上げます。

この冬は灯油の高騰、各種食品の値上げと、市民にとっても生活を直撃することが多く、また、寒いニユースが多い昨今ですが、当院を受診、入院される患者さまに少しでも院内にいる間の時間を満足していただけるようにと、放射線科では月ごとにも月間目標を掲げて、職員一同、取り組んでおります。

ここ数カ月の目標は「患者さまへの優しい言葉掛け」を掲げており、患者さまへ定着しつつあります。今月もサブタイトルとして「積極的な挨拶をしよう」を掲げて、月例のミーティングで確認しました。私達から患者さまへ積極的に声を掛けたら、お互いが清々しい気持ちになり、1日の良いスタートが切れます。また、もう一つのサブタイトルは「患者さまの行動をよく理解しよう」と掲げました。患者さまが何をしてもらいたいのか、何を訴えているのかを確認し、患者さまの心を理解した言葉掛けが必要だと思います。

私達の行動は患者さまへ勇気や希望を与え、また、私達も患者さまが病氣と闘って快方に向かう姿を見て、勇気や希望をもらいます。病院新築が少し先延びしましたが、このような良好な環境を築き上げていく事が、新病院への礎になると信じて止みません。

放射線科では小樽後志地区で唯一の放射線治療装置を備えており、ほかにも数少ない核医学検査も行っており、市民の皆さんのニーズに答えられるように日夜、努力しています。今後も新しい機器を導入し、レベルの高い検査技術を提供できるように放射線科一同が研鑽して参りますので、ご協力の程、宜しくお願い致します。

尚、当院の放射線技師の中に線管理士の資格を持った技師が6名おりますので、被ばくや検査の事でご相談されたい方は、遠慮なく近くの技師に声を掛けていただければ幸いです。今後ともご支援下さいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。



放射線科の受け付けなどの飾り付け(昨年末)



## 市立小樽病院基本理念

(病院理念)

良質の医療、信頼の医療を優しさと思いやりをもって提供する病院

地域の中核医療を担う市立病院で働く職員、医療人としての使命感を持ち協調して行動する病院

(基本方針)

- 科学的でかつ良質・効率的な医療の提供を目指します。
- 医療の安全管理に最大の努力をばらいます。
- 患者さまの満足度の向上に努めます。
- 患者さまの権利を尊重し患者さま本位の人間味あふれる医療を行います。
- 市立病院は市の行政施策のひとつとして存在することを認識し行動します。
- 地域の医療機関や福祉施設等の連携等により地域完結型の医療を推し進めます。
- 医療の使命に情熱を燃やす職員集団として日々研鑽に励みます。
- 職種、診療科を超えたチーム医療に徹し病院の総合力を発揮します。
- 良質で安全な医療を提供するため経営健全化に努めます。

## 健康のはなし

### 小児の肥満について



日本人小児の体格は確実に大きくなってきました。身長が大きくなっているのも事実ですが、それ以上に肥満を呈する子供が増えています。

食事習慣(食事の欧米化、間食の問題)や生活習慣(運動不足、習い事やテレビゲームの普及など)の変化が影響しているものと思われま

諸外国の調査では、思春期の肥満が高度であると成人肥満に移行しやすい、生活習慣病やメタボリック症候群の合併が多くなることが分かっています。

ある統計では、7歳の肥満の40%、思春期肥満の70~80%が成人肥満へ移行すると言われています。病的な問題としては、高血圧、睡眠時無呼吸、2

型糖尿病、肝機能障害(非アルコール性脂肪肝)、高脂血症(高コレステロール血症、高LDLコレステロール血症、低HDLコレステロール血症、高中性脂肪血症)、高尿酸血症などがあります。日本では15歳以下の2型糖尿病が20年前の約3倍となり、その80%が肥満を伴っていることが報告されています。

高度の肥満の場合は、小児期からすでに脂肪肝や糖尿病、高尿酸血症、高脂血症となる例もあり、注意が必要です。ただ、小児における肥満は成人と違い、いわゆる「発育期の肥満」と言われています。無理なダイエットを目指すのではなく、それ以上の体重増加を抑えて、その間、身長が伸びることと肥満度が減少することを目標とします。当初は食事療法や運動療法が主体となりますが、必要により薬物治療が必要となることもあります。病気になる前の予防がとても重要になります。



小児科 小田川泰久

# 「医事課の紹介」

初めに患者さまと接する病院の職員は、看護師でしょうか？不安の中で患者さまが最初に接するのは、医師でしょうか？病院の第一印象を決めるのは医師でもなく看護師でもなく、新患受付や総合案内にいる医事課の職員です。



「ときばきとした対応と笑顔」 良質な接遇を求められる職場です。

医事課の仕事は、皆さんご存知の新患受付、案内、料金計算、予約、外来受付のほか、病棟クラーク、医局事務、地域連携室事務、レセプト請求など多岐にわたっています。

特にレセプト請求は、医師や看護師などの仕事をお金に換える病院経営にとってなくてはならない仕事の一つです。一カ月単位で診療行為の内容を入力し、レセプト（診療報酬明細書）にまとめ、国民健康保険などの各保険者へ請求する仕事です。病院の収入のほとんどがこれにより賄われているため、いかに正しく、請求漏れがないかなど、月初めの医事課の部屋は緊張の連続です。しかし、最初にお話したように、初めに患者さまに接する医事課の職員は病院の顔になるといつても過言ではありません。夫婦けんかをした翌日でも、失恋したときでもプロであることを忘れずに思いやりの気持ちと笑顔で仕事をしていきます。患者さまに安心して頂けるように、医事課一同頑張っていきたいと考えていますのでよろしく願います。

（医事課長 石井 純一）



## 高等看護学院 戴帽式

市立小樽病院高等看護学院で昨年11月2日、「戴帽式」が行われました。「戴帽式」は、学院生を対象に看護職へ進む気持ちを新たに決意し、人類愛を基盤としたナイチンゲールの精神を引き継いでもらうことを目的として行われます。



## 患者満足度調査から

（医事課・薬局部門）

昨年7月19日から3日間、医事課・薬局合同で患者満足度調査を実施しました。調査には381名の患者さまから回答をいただきました。皆さんご協力ありがとうございました。質問事項は主に接遇に関することや待合室などの環境に関する事などでした。全部で15項目についてお尋ねしました。

（結果は下表）  
その結果は、すべての項目で3点以上をいただきました。平均点が3.78点、この結果に合格点をいただいたかどうかの判断は難しいところですが、接遇に関する項目が4点以上と判断されたことは喜ばしいことと思っております。しかし、トイレや院内の清掃、プライバシーへの配慮については厳しい点数とご意見が寄せられました。今回指摘されたご意見や結果を参考にさせていただきます。昨年末にすべての診療科の診察室の仕切りを特にプライバシー保護のために、天井から下までふさぎました。今後とも患者さまに満足いただける病院を目指して改善に取り組んで参りたいと考え、参りたいと考えています。



アンケートの質問ごとに、回答内容で

- 「満足」 = 5点
- 「やや満足」 = 4点
- 「普通」 = 3点
- 「やや不満」 = 2点
- 「不満」 = 1点

として換算し、平均を算出しました。

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

褥病だより **こころ**

次回発行は 4月の予定です

発行 市立小樽病院  
編集 市立小樽病院広報委員会  
ホームページ <http://www.med-otaru.jp/>  
ホームページから過去の広報誌がご覧になれます。

No	質問	点数
1	患者さまへのプライバシーの配慮はいかがでしたか。	3.61
2	各科が予約になってから、待ち時間が短くなったと感じられますか。	3.39
3	薬局から口頭でのお薬の説明はわかりやすいですか。	3.87
4	お薬の説明書(薬剤情報提供書)の内容についてはいかがでしたか。	3.88
5	薬袋の飲み方の表示方法はわかりやすいですか	3.94
6	請求書(領収書)の明細はわかりやすいですか	3.84
7	患者さまの悩み相談など、どの職員にも声をかけやすい雰囲気でしたか。	3.78
8	薬局職員の対応(言葉づかい、態度)、身だしなみはいかがでしたか。	4.04
9	予約係や会計の対応(言葉づかい、態度)、身だしなみはいかがでしたか。	4.06
10	診療科前の受付職員の対応(言葉づかい、態度)、身だしなみはいかがでしたか。	4.11
11	来院された時の受付職員や総合案内の対応(言葉づかい、態度)、身だしなみはいかがでしたか。	4.16
12	トイレや院内の清掃はいきていっていましたか。	3.32
13	診療科前の待合場所・会計や薬待ちをする所の広さや椅子の数はいかがですか。	3.14
14	再来機の操作など受付方法はわかりやすいですか。	3.89
15	院内の各種表示は、わかりやすいですか	3.63
		平均 3.78